



四月のあれこれ

喜多 埜

春は苦し

寒い冬が終わると、野山には若草色がひろがり、菜の花、フキノトウ、ツクシ、タンポポなどの春の草々がいつせいに芽吹きます。このよ  
うな野山の目覚めを目の当たりにすると私  
たちもどこか、元気をもらえるような気が  
しなくもありません。

さて、この春に芽吹く若草の中でも、食す事  
が出来る山野草には、ほろ苦い味のものが多い  
ように感じます。ですがお子さんのいるご家庭  
では、子供が苦いものを嫌がるという事で、そ  
ういった山野草を食卓に出さない場合が多い  
そうです。しかし、そういった時に昔の人は「春  
は苦いものを食べよ」と諭しました。

これらは迷信であると思われるがちですが、こ  
の春の苦さは細胞を刺激し、新陳代謝を促す効  
果があり、野山の動物が、好んで苦い若草を食  
すのも、冬に蓄えた脂肪を溶融させ、エネルギー  
に替える為でもあるとか。あながち迷信と馬  
鹿には出来ません。

どうぞ、この春にはご家庭でも苦い野菜を頂  
き、野山の元気を貰ってください。

黄砂

昨今、暖かくなるとよくこの「黄砂」とい  
う文字を見受けます。この黄砂が飛来すると  
視界が悪くなる事をご存知の方は多いと思ひ  
ますが、実は中国からの大気汚染物質も黄砂  
に混じって飛来している事をご存知の方は少  
ないようです。どうぞ、この黄砂の予報の出  
た日はマスクなどをしてお気をつけ下さい。

四月と言えば年度の始まりの月ですが、エ  
イプリルフル、花まつり、復活祭など色々  
な行事のある月でもあります。今回はそんな  
四月の行事についてのお話です。

エイプリルフルの起源は、十六世紀フラ  
ンスに遡り、当時のフランスでは三月二十五  
日を新年とし、四月一日までを春祭の期間と  
してお祝いしていました。ところが西暦一五  
六四年にシャルル九世が、一月一日を新年と  
するという暦を採用した為、これに反発する  
民衆が「嘘の新年」として四月一日に馬鹿騒  
ぎするようになったのが始まりだそうです。

花祭りはお釈迦さまが生まれた日とされ、  
この日には花で作ったお堂の中に椀状の入れ  
物を置き、その中心に仏像を安置し、その中  
を甘茶を満たし、甘茶を仏像にかけて釈迦の  
誕生を祝うことから灌仏会とも呼ばれます。

復活祭はイエス・キリストが処刑されてか  
ら三日目に復活したことを記念し、この後、  
イエスの復活を祈っていた使徒の上に聖霊が  
降臨したというペンテコステの日までの二ヶ月間を復活節（イースター）としてお祝いし  
ます。

ところは違えど、春の喜びは何かしらの形  
でお祝いするのが人間のようです。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ボーダフォン  
ez web 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

